

令和6年
保健事業の動向
(令和7年度版)

朝日町保健センター

目 次

第 1 章 人 口 動 態

1. 町勢概要	1
2. 地区別世帯数及び人口	2
3. 年齢3区分別人口割合の推移	2
4. 人口動態	2
5. 出生の年次推移	3
6. 低出生体重児の年次推移	3
7. 死亡の年次推移	3
8. 乳児死亡の年次推移	3
9. 新生児死亡の年次推移	4
10. 死産の年次推移	4
11. 周産期死亡の年次推移	4
12. 婚姻の年次推移	4
13. 離婚の年次推移	4
14. 死因別死亡者数	5
15. 死因順位の年次推移	5
16. 悪性新生物の部位別死亡数（年次別）	6
17. 心疾患の病類別死亡者数（年次別）	6
18. 脳血管疾患の病類別死亡者数（年次別）	6

第 2 章 母 子 保 健

1. 母子保健活動内容	7
2. 母子保健事業実施状況	12

第 3 章 成 人 保 健

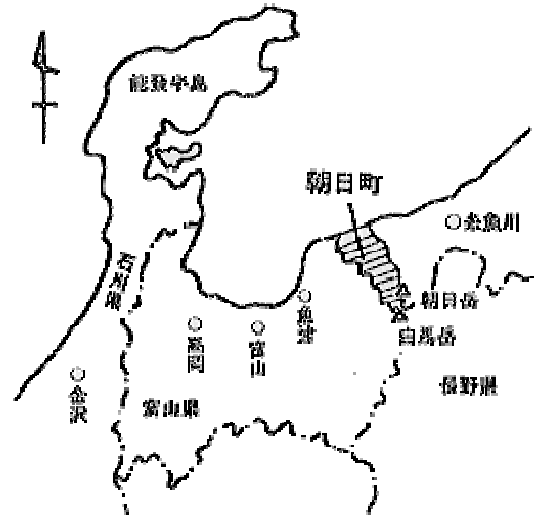
1. 成人保健活動内容	24
2. 健康教育開催状況	28
3. 健康相談開催状況	28
4. 疾患別訪問指導状況	28
5. 健康診査実施状況	28
6. がん検診実施状況	30
7. 健康診査受診状況	39

第 4 章	結核・予防接種	
1.	結核検診実施状況	40
2.	予防接種実施状況	41
第 5 章	保健師等活動状況	
1.	保健師活動状況	43
2.	家庭訪問内容	43
3.	保健センター利用状況	44
第 6 章	特定健康診査・特定保健指導	
1.	特定健康診査・特定保健指導実施状況	45

第 1 章 人 口 動 態

1. 町勢概要

1. 人口	10,636人	(男5,039人 女5,597人)
2. 世帯数	4,600	世帯
3. 面積	227.41	km ²
4. 人口密度	46.8	人
5. 医療	病院	2
	一般診療所	4
	歯科診療所	5



※令和6年4月1日現在（住民基本台帳による）

2.地区別世帯数及び人口

地区	人口構成			人口の増減 (対前年)	世帯数	一世帯当り 平均人員
	計	男	女			
総数	10,636	5,039	5,597	△ 280	4,600	2.31
境	361	180	181	△ 9	161	2.24
宮崎	392	190	202	△ 4	169	2.32
笹川	214	112	102	△ 17	101	2.12
泊1区	906	413	493	△ 25	396	2.29
泊2区	2,305	1,029	1,276	△ 35	1,090	2.11
泊3区	1,583	763	820	△ 40	692	2.29
五箇庄	1,707	828	879	△ 60	690	2.47
南保	759	360	399	△ 27	335	2.27
山崎	810	401	409	△ 35	366	2.21
大家庄	1,599	763	836	△ 28	600	2.67

※令和6年4月1日現在(住民基本台帳)

3.年齢3区分別人口割合の推移

朝日町

年次	年少人口(0~14歳)		生産年齢人口(15~64歳)		高齢人口(65歳以上)	
R2	896	8.2	5,120	46.7	4,939	45.1
R3	866	8.0	5,051	46.6	4,923	45.4
R4	824	7.8	4,859	46.2	4,832	46.0
R5	783	7.6	4,689	45.7	4,783	46.6
R6	735	7.4	4,504	45.3	4,696	47.3

※令和6年10月1日現在(富山県人口移動調査)

富山県

R6	104,412	10.7	546,504	55.9	326,462	33.4
----	---------	------	---------	------	---------	------

※令和6年10月1日現在(富山県人口移動調査)

4.人口動態

令和6年

区分	朝日町		富山県		全国	
	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)
出生	18	1.8	5,078	5.2	686,173	5.7
死亡	226	23.1	15,184	15.6	1,605,378	13.3
自然増加	△ 208	△ 21.3	△ 10,106	△ 10.4	△ 919,205	△ 7.6
乳児死亡	-	-	6	1.2	1,266	1.8
新生児死亡	-	-	5	1.0	637	0.9
死産	-	-	78	15.1	15,323	21.8
周産期死亡	-	-	14	2.8	2,285	3.3
婚姻	12	1.2	3,324	3.4	485,092	4.0
離婚	10	1.02	1,096	1.13	185,904	1.55

(「人口動態統計」厚生労働省・富山県)

5.出生の年次推移

年次	朝日町		富山県		全国	
	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)
R2	37	3.4	6,256	6.1	840,835	6.8
R3	33	3.1	6,076	6.0	811,622	6.6
R4	24	2.3	6,022	6.0	770,759	6.3
R5	39	3.9	5,512	5.6	727,288	6.0
R6	18	1.8	5,078	5.2	686,173	5.7

6.低出生体重児の年次推移

年次	出生数	低出生体重児		出生体重の区分			
		数	率(出生百対)	1.0kg未満	1.0～1.4kg	1.5～1.9kg	2.0～2.4kg
R2	37	3	8.1	-	-	-	3
R3	33	4	12.1	-	-	-	4
R4	24	2	8.3	-	2	-	-
R5	39	5	12.8	-	1	-	4
R6	18	1	5.6	-	-	-	1

7.死亡の年次推移

年次	朝日町		富山県		全国	
	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)
R2	204	18.6	12,981	12.8	1,372,755	11.1
R3	195	18.2	13,650	13.5	1,439,856	11.7
R4	230	22.2	15,052	15.1	1,569,050	12.9
R5	204	20.2	15,095	15.3	1,576,016	13.0
R6	226	23.1	15,184	15.6	1,605,378	13.3

8.乳児死亡の年次推移

年次	朝日町		富山県		全国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R2	-	-	11	1.8	1,512	1.8
R3	-	-	13	2.1	1,399	1.7
R4	-	-	9	1.5	1,356	1.8
R5	-	-	13	2.4	1,326	1.8
R6	-	-	6	1.2	1,266	1.8

9.新生児死亡の年次推移

年次	朝日町		富山県		全国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R2	-	-	5	0.8	704	0.8
R3	-	-	7	1.2	658	0.8
R4	-	-	6	1.0	609	0.8
R5	-	-	7	1.3	600	0.8
R6	-	-	5	1.0	637	0.9

10.死産の年次推移

年次	朝日町		富山県		全国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R2	2	51.3	116	18.2	17,278	20.1
R3	1	29.4	118	19.1	16,277	19.7
R4	2	76.9	106	17.3	15,179	19.3
R5	1	25.6	92	16.4	15,534	20.9
R6	-	-	78	15.1	15,323	21.8

11.周産期死亡の年次推移

年次	朝日町		富山県		全国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R2	-	-	22	3.5	2,664	2.1
R3	-	-	27	4.4	2,741	3.4
R4	-	-	24	4.0	2,527	3.3
R5	-	-	18	3.3	2,404	3.3
R6	-	-	14	2.8	2,285	3.3

12.婚姻の年次推移

年次	朝日町		富山県		全国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R2	21	1.9	3,720	3.7	525,507	4.3
R3	16	1.5	3,548	3.5	501,138	4.1
R4	18	1.7	3,496	3.5	504,930	4.1
R5	19	1.9	3,276	3.3	474,741	3.9
R6	12	1.2	3,324	3.4	485,092	4.0

13.離婚の年次推移

年次	朝日町		富山県		全国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R2	8	0.73	1,239	1.22	193,253	1.57
R3	6	0.56	1,164	1.15	184,384	1.50
R4	7	0.67	1,074	1.08	179,099	1.47
R5	8	0.79	1,126	1.14	183,814	1.52
R6	10	1.02	1,096	1.13	185,904	1.55

14.死因別死亡者数（人口10万対）

死 因	朝 日 町		富 山 県		全 国	
	実数	率	実数	率	実数	率
総数	226	2309.9	15,184	1558.9	1,605,378	1334.5
悪性新生物	42	429.3	3,585	368.1	384,111	319.3
心疾患	31	316.8	1,904	195.5	226,388	188.2
肺炎	12	122.6	654	67.1	80,176	66.6
脳血管疾患	19	194.2	1,113	114.3	102,821	85.5
老衰	26	265.7	2,253	231.3	206,887	172.0
不慮の事故	13	132.9	589	60.5	45,743	38.0
自殺	0	0.0	146	15.0	19,608	16.3
大動脈瘤及び解離	8	81.8	179	18.4	20,427	17.0
腎不全	6	61.3	273	28.0	29,665	24.7
慢性閉塞性肺疾患	1	10.2	158	16.2	16,629	13.8
肝疾患	2	20.4	171	17.6	18,858	15.7
糖尿病	0	-	145	14.9	14,959	12.4

15.死因順位の年次推移

年次	順 位	朝 日 町		富 山 県		全 国	
		死 因	率	死 因	率	死 因	率
R2	第 1 位	悪性新生物	552.9	悪性新生物	346.6	悪性新生物	299.8
	2	心 疾 患	214.0	心 疾 患	162.1	心 疾 患	162.9
	3	老 衰	196.2	老 衰	138.4	老 衰	104.9
R3	第 1 位	悪性新生物	523.3	悪性新生物	356.1	悪性新生物	310.7
	2	心 疾 患	308.4	心 疾 患	184.0	心 疾 患	174.9
	3	老 衰	158.9	老 衰	163.3	老 衰	104.9
R4	第 1 位	悪性新生物	472.0	悪性新生物	372.7	悪性新生物	316.1
	2	心 疾 患	317.9	老 衰	202.5	心 疾 患	190.9
	3	老 衰	211.9	心 疾 患	199.4	老 衰	147.1
R5	第 1 位	悪性新生物	564.0	悪性新生物	362.9	悪性新生物	315.6
	2	老 衰	316.6	老 衰	224.6	心 疾 患	190.7
	3	心 疾 患	296.8	心 疾 患	193.3	老 衰	156.7
R6	第 1 位	悪性新生物	429.3	悪性新生物	368.1	悪性新生物	319.3
	2	心 疾 患	316.8	老 衰	231.3	心 疾 患	188.2
	3	老 衰	265.7	心 疾 患	195.5	老 衰	172.0

16.悪性新生物の部位別死亡数(年次別)

年次	総 数			食道		胃		腸		肝臓		胆		膵臓		肺		乳房		子宮		前立腺		他	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
R2	62	33	29	-	-	5	5	3	9	4	-	3	-	2	3	5	3	-	3	-	1	2	-	9	5
R3	56	27	29	1	-	2	3	5	3	1	2	1	2	3	5	7	5	-	2	-	-	3	-	4	7
R4	49	28	21	2	-	2	-	6	3	-	2	4	4	2	3	6	4	-	2	-	-	-	-	6	3
R5	57	33	24	2	-	5	4	6	3	2	1	2	-	-	4	6	3	-	2	-	3	4	-	6	4
R6	42	22	20	3	-	3	1	3	4	2	-	-	2	2	5	4	1	-	2	-	-	1	-	4	5

17.心疾患の病類別死亡者数(年次別)

年次	総 数			慢性リウマチ性 心疾患		急性 心筋梗塞		その他の 虚血性心疾患		慢性非リウマチ性 心内膜疾患		心筋症		不整脈及 び 伝導障害		心不全		その他の 心疾患	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
R2	24	9	15	-	-	2	2	-	2	-	1	-	1	3	2	3	7	1	-
R3	33	17	16	-	-	2	1	2	1	3	1	-	-	4	3	6	10	-	-
R4	33	12	21	-	-	2	3	1	2	-	3	-	-	1	4	8	9	-	-
R5	30	12	18	-	-	3	1	-	2	-	3	-	-	4	2	5	10	-	-
R6	31	12	19	-	1	1	3	-	-	1	1	-	-	-	1	10	13	-	-

18.脳血管疾患の病類別死亡者数(年次別)

年次	総 数			くも膜下 出血		脳内出血		脳梗塞		その他の 脳血管疾患	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
R2	17	3	14	1	-	1	3	1	10	-	1
R3	11	6	5	1	1	1	-	4	4	-	-
R4	14	6	8	-	-	4	5	2	3	-	-
R5	12	8	4	-	-	1	1	7	3	-	-
R6	19	9	10	-	1	5	-	4	9	-	-

第 2 章 母 子 保 健

1.母子保健事業内容

事業名	不妊治療費助成事業	不育症治療費助成事業	プレ妊活健診費助成事業	産前・産後サポート事業
				ママカフェ
対象	夫婦の両方又はどちらか一方が、申請日までに朝日町に1年以上居住し、体外受精又は顕微授精以外に妊娠が望めない夫婦(事実婚を含む)	朝日町に1年以上居住し、産婦人科医や生殖医療専門医による不育症治療を受けた夫婦	申請日において夫婦の両方またはいずれか一方が朝日町に居住し、妻の年齢が40歳未満で、婚姻後3年以内の夫婦(事実婚を含む)	妊婦、産婦(産後1年未満)乳児、家族 ※里帰り出産者を含む
回数	随時	随時	随時	月1回
場所	受付:保健センター	受付:保健センター	受付:保健センター	保健センター
内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定医療機関又は保健医療機関において、不妊治療を受けている夫婦を対象とする 体外受精又は顕微授精、男性不妊治療に要した費用で、妻が43歳未満の場合、国・県等の助成金や高額療養費を控除した費用、妻が43歳以上の場合、治療に要した保険適用外医療費とする 助成する額は、対象費用に対して、1回の治療につき、妻が43歳未満の場合全額、43歳以上の場合15万円まで、1年度当たり3回を限度とする 	<ul style="list-style-type: none"> 助成する額は、医療機関における検査及び治療に要した費用の全額で、国・県等の助成金を控除した費用を助成 	<ul style="list-style-type: none"> 実施医療機関で受けたプレ妊活健診において、規定する検査項目費用を助成する 費用:無料(規定の項目以外の検査を受ける場合は別途費用が発生する) 助成回数:夫婦1組につき1回までとする 	<ul style="list-style-type: none"> 個別相談 利用者同士での自由な交流
スタッフ	保健師 5名	保健師 5名	保健師 5名	保健師 1名 助産師(嘱託) 1名
備考	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度より実施 男性不妊治療については、平成28年度より実施 令和4年度より制度改正 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度より実施 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年10月より実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年5月より実施 利用料:無料

産後ケア事業			産前・産後ヘルパー派遣事業
短期入所型	通所型	居宅訪問型	
生後4か月未満の乳児 及び母親 ※里帰り出産者は除く	生後4か月未満の乳児 及び母親 ※里帰り出産者は除く	生後1年以内の乳児 及び母親 ※里帰り出産者は除く	朝日町内に住民票の住所地を有し、かつ、居住する出産後6か月以内の母親又はその配偶者(事実婚を含む。)
2泊3日を限度に、 1人あたり上限2回	1人あたり上限3回	1人あたり上限5回	1人あたり上限5回
あわの産婦人科医院	あわの産婦人科医院	各家庭	各家庭
<p><u>対象者(詳細)</u> ・家族のサポートが十分に受けられない状況にある者や、育児に不安があり専門職のサポートが必要である者、母親自身が体調不良である者など</p> <p><u>内容</u> ・産後の生活指導 ・授乳指導 ・育児指導 ・相談支援 ・EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票を用いた、産後の母への精神的フォローなど</p>	<p><u>対象者(詳細)</u> ・家族のサポートが十分に受けられない状況にある者や、育児に不安があり専門職のサポートが必要である者、母親自身が体調不良である者など</p> <p><u>内容</u> ・産後の生活指導 ・授乳指導 ・育児指導 ・相談支援 ・EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票を用いた、産後の母への精神的フォローなど</p>	<p><u>対象者(詳細)</u> ・家族のサポートが十分に受けられない状況にある者や、育児に不安があり専門職のサポートが必要である者、母親自身が体調不良である者など</p> <p><u>内容</u> ・産後の生活指導 ・授乳指導 ・育児指導 ・相談支援 ・EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票を用いた、産後の母への精神的フォローなど</p>	<p><u>内容</u> 【家事】調理、衣類の洗濯、居室等の掃除、整理整頓、生活必需品の買い物等 【育児補助】授乳、おむつ交換、沐浴の手伝い等</p>
助産師及び看護師 (あわの産婦人科医院)	助産師及び看護師 (あわの産婦人科医院)	嘱託助産師	委託事業所 1か所
<p>・令和2年10月より実施 ・利用料 1泊2日 8,500円 2泊3日 15,500円 *令和5年度より利用料を減免</p>	<p>・令和2年10月より実施 ・利用料 2,000円/回 *令和5年度より利用料を減免</p>	<p>・平成30年度より実施 ・利用料 500円/回</p>	<p>・令和4年度より実施 ・利用料 1,500円/回</p>

教室		訪 問		健 康 相 談	
もうすぐパパママ教室	離乳食相談会	家庭訪問	こんにちは 赤ちゃん事業	テレホン育児相談 「子育てママ 応援テレフォン」	障害児を持つ 母親の集い 「たんぼぼの集い」
妊婦及び父親	生後5か月頃～ 離乳食完了期	妊産婦 乳幼児 未熟児	生後4か月未満の 全ての乳児 及び母親	希望者	障害児とその家族
年2回	年6回	随時	1人につき1回 (要観察ケースは随時)	随時	月1回
保健センター	保健センター	各家庭	各家庭	保健センター	保健センター
①受付 ②子育てについての講演 ③先輩パパママ・乳児との交流 ④沐浴・オムツ交換 抱き方の体験 妊婦ジャケット着用による妊婦体験	①受付 ②身体計測(希望者) ③離乳食相談	<u>対象者(詳細)</u> ・ハイリスク妊産婦 ・乳幼児健診後の経過観察児 ・未熟児 ・新生児・産婦の希望者(里帰り出産者を含む) <u>内容</u> ①児の発育状況の確認 ②産婦の身体状況および母乳の分泌状態の確認 ③産後うつの確認 ④保健指導	①乳児の身体測定 ②乳児の成長発達の確認 ③母親の健康状態の確認 ④子育て相談 ⑤子育て環境の把握	育児全般に関する相談	・情報交換 ・講演会・相談会 ・家族交流会 ・親子レクリエーション
保健師 2名 助産師(嘱託) 1名 母子保健推進員 2名	保健師 5名 管理栄養士 1名	保健師 5名 助産師(嘱託) 2名	保健師 5名 助産師(嘱託) 2名	保健師 5名 管理栄養士 1名	保健師 1名
・平成22年度より実施	・平成24年度より事業開始 ・希望者が受講 ・令和6年度より離乳食相談会へ変更。	・EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票を用いた、産前産後の母親への精神的フォローを実施(妊産婦・未熟児・新生児訪問) ・未熟児訪問は平成25年度より実施(県からの委譲)	・平成20年度より実施 ・EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票を用いた、産後の母親への精神的フォローを実施 ・子育て支援サービスの情報提供を実施	・平成10年度より子育て相談専用電話83-1920(イクジマル)を設置	・平成10年度より実施

事業名	健 康 診 査				乳幼児健診事後フォロー事業	
	4か月児健診	10～11か月児健診	1歳6か月児健診	3歳児健診	にじいろランド	ことばの相談会
対象	4か月児	10～11か月児	1歳6・7か月児	3歳5・6か月児	乳幼児健診の結果、その後の支援が必要と判断された幼児とその保護者	乳幼児健診等で言語発達・情緒・行動面等についてその後の支援が必要と判断された幼児とその保護者
回数	月1回	隔月1回	隔月1回	隔月1回	隔月1回	年4回
場所	保健センター	保健センター	保健センター	保健センター	保健センター	保健センター
内容	①受付 ②問診 ③身体計測 ④診察 (小児科・整形外科) ⑤結果説明 ⑥集団指導 ⑦離乳食指導	①受付 ②身体計測 ③問診・保健指導 ④小児科診察 ⑤歯科指導 ⑥結果説明 ⑦栄養相談	①受付 ②問診 ③身体計測 ④小児科診察 ⑤歯科診察 ⑥保健指導 ⑦結果説明 ⑧子育て相談 ⑨栄養相談 ⑩歯科指導 ⑪フッ素塗布 (希望者)	①受付 ②問診 ③身体計測 ④尿検査 ⑤視覚検査 ⑥小児科診察 ⑦歯科診察 ⑧紙芝居の読み聞かせ ⑨保健指導 ⑩結果説明 ⑪子育て相談 ⑫栄養相談 ⑬歯科指導	①受付 ②問診、自由遊び ③オリエンテーション ④はじまりの会 ⑤集団あそび ⑥おやつ ⑦おわりの会	①受付 ②問診、自由遊び ③個別相談
スタッフ	小児科医師 1名 整形外科医師 1名 看護師 1名 保健師 5名 管理栄養士 1名	小児科医師 1名 看護師 1名 保健師 5名 歯科衛生士 1名 管理栄養士 1名	小児科医師 1名 歯科医師 1名 臨床心理士 1名 歯科衛生士 3名 看護師 1名 保健師 5名 管理栄養士 1名 事務(雇) 1名	小児科医師 1名 歯科医師 1名 臨床心理士 1名 視能訓練士 1名 歯科衛生士 3名 看護師 1名 保健師 5名 管理栄養士 1名 事務(雇) 1名 母子保健推進員 2名	保健師 5名 保育士 2名	言語聴覚士 1名 保健師 5名
備考	・診察の結果、精密健康診査が必要と認められた児に対して乳児精密健康診査受診票を発行	・平成13年度より教室として実施していたが、平成18年度より診察有りの健診として実施 ・10～11か月児健診として、隔月で開催していたが、令和2年度より、10か月児健診として、4か月児健診と一緒に毎月実施 ・令和6年度より10～11か月児健診として隔月で4か月児健診と同日に実施	・平成12年度よりむし歯予防パーフェクト作戦の乳歯むし歯予防事業 (希望者に対するフッ素塗布)を併せて実施 ・必要に応じて精密健康診査受診票を発行	・母子保健推進員による紙芝居の読み聞かせを実施 ・必要に応じて精密健康診査受診票を発行 ・令和2年度より新型コロナウイルス感染症の感染拡大により染め出しは中止 ・令和3年度より、視能訓練士による視覚検査を実施	・令和元年度より実施 ・後方支援: 富山県発達障害者支援センター 「ほっぷ」相談員	・令和5年度より実施

歯ッスルとやま8020推進事業				子どもサポートネットワーク連絡会
妊婦歯科健康診査	乳歯むし歯予防事業	永久歯むし歯予防事業		
		歯科健診・フッ素塗布	フッ化物洗口	むし歯予防教室
妊婦	2歳・2歳半・3歳児	・町内保育所へ通所する年中・年長児 ・町内小学校へ通学する1～6年生	・町内保育所へ通所する年中児	教育 福祉 保健 医療の関係者
妊娠中に1回	年12回	保育所:週1回 小学校:週1回	各保育所1回	年4回
町内歯科医院	保健センター	各保育所 各小学校	各保育所	保健センター研修室
・問診 ・歯及び歯周検査 ・結果説明	①受付 ②問診 ③歯科指導 ④結果説明 ⑤歯科指導 ⑥フッ素塗布	洗口の手順 ・フッ素洗口液を口に含み、約1分間のブクブクがいを実施 ・飲み込み児の確認	年中児 ・歯の大切さ ・むし歯の原因 ・むし歯の予防 ・歯磨き指導	・事例検討 ・学習会 ・関係者の連絡会
	歯科医師 1名 歯科衛生士 3名 保健師 5名	担任保育士 担任教諭 養護教諭	歯科衛生士 保健師 保育士 養護教諭 担任教諭	小中高校 教諭・養護教諭 保育士 児童福祉事務担当者 学校教育事務担当者 保健師 (町・厚生センター) 助産師 地域療育支援 コーディネーター 総合支援学校教諭 子育てアドバイザー 主任児童委員
・平成27年度より実施 ・健診料金は無料	・1歳6か月～3歳6か月の間に計5回(半年毎)塗布 ・2・3回目は1歳6か月児健診、4回目は3歳児健診と併せて実施 ・2・4回目にRDテストを実施していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により令和2年度から中止。 令和6年度より再開	・保護者及び児童からの希望があった者を実施 ・新型コロナウイルス感染症の流行により、令和4年度は、小学校では中止していたが、令和5年度より感染状況を見ながら再開	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度より中止。 令和6年度より再開	・平成17年3月より実施 ・平成22年8月より住民・子ども課が実施

2.母子保健事業実施状況

(1) プレ妊活健診

年度	申請件数	
	実数	延数
R5	-	-
R6	-	-

(2) 不妊治療費助成事業

年度	申請件数		内 訳				内妊娠者数
	実数	延数	体外受精	顕微授精	融解胚移植	体調不良等による治療中止	
R5	6	15	4	4	7	1	1
R6	6	11	4	2	1	4	3

(3) 不育症治療費助成事業

年度	申請件数	
	実数	延数
R5	-	-
R6	-	-

(4) 妊娠の届出

年度	総数	妊 娠 届 出 状 況											
		満11週以内		12～19週		20～27週		28週以上		出産後		不詳	
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
R5	29	28	96.6	1	3.4	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0
R6	30	30	100.0	-	-	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0

(5) 妊婦一般健康診査

1) 受診状況

年度	発行実数	受 診 者 数 (実 数)													
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目
R5	29	31	32	31	33	35	33	36	36	38	36	34	24	17	8
R6	33	30	28	24	20	16	19	21	22	23	21	20	16	12	5

2) 子宮頸部がん検診の受診結果

年度	受診者数	NILM	ASU-US	ASC-H	LSIL	HSIL					SCC	その他
		陰性			軽度異形成	中度異形成	高度異形成	上皮内癌	微小浸潤扁平上皮癌 疑い	扁平上皮癌		
		I, II	II-IIIa	IIIa-b	IIIa	IIIa	IIIb	IV	V	V		
R5	31	30	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	30	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3) 受診結果

年度	不規則抗体		HBs抗原		HCV抗体		風疹抗体		HTLV-1抗体	梅毒血清反応	HIV抗体
	受診者数	陽性	受診者数	陽性	受診者数	陽性	受診者数	陽性	受診者数	受診者数	受診者数
R5	29	0	31	0	30	0	30	20	33	31	31
R6	30	0	30	0	30	0	30	13	19	29	29

年度	GBS	クラミジア
	受診者数	受診者数
R5	44	36
R6	30	20

(6) 妊婦精密健康診査

年度	受診状況		受診結果(実数)			
	発行実数	受診実数	特になし	要指導	要観察	要治療
R5	2	2	2	-	-	-
R6	3	3	3	-	-	-

(7) 妊婦歯科健康診査

年度	発行実数	受診者数
R5	29	16
R6	30	7

(8) 妊産婦訪問指導

年度	妊婦		産婦	
	実数	延数	実数	延数
R5	7	7	56	68
R6				

(9) 産婦健康診査

1) 2週間健診受診状況

年度	受診実数	EPDS		総合判定							要訪問者への対応		精神科連携		
		9点以上	項目10該当	異常なし	要指導	要精検	要治療	要訪問	内訳(再掲) EPDS	その他	訪問数	未訪問数	理未主 訪 由問な	し連 い絡 が状 望態 ま	連 絡 済
R5	39	1	-	35	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	22	4	2	16	2	-	1	3	3	1	3	-	-	-	

2) 1か月健診受診状況

年度	受診実数	EPDS		総合判定							要訪問者への対応		精神科連携		
		9点以上	項目10該当	異常なし	要指導	要精検	要治療	要訪問	内訳(再掲) EPDS	その他	訪問数	未訪問数	理未主 訪 由問な	し連 い絡 が状 望態 ま	連 絡 済
R5	41	1	-	40	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
R6	18	1	1	17	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	

(10)産前・産後サポート事業(ママカフェ)

年度	実施回数	実数		延数	
		総数	町内者(再掲)	総数	町内者(再掲)
R5	11	22	19	103	95
R6	12	12	10	52	42

(11)産後ケア事業

年度	居宅訪問型		通所型		短期入所型	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数
R5	-	-	-	-	-	-
R6	-	-	-	-	1	1

(12)産後ヘルパー派遣事業

年度	実数	延数
R5	1	1
R6	-	-

(13)もうすぐパパママ教室

年度	開催回数	受講人数
R5	2	17
R6	-	-

(14)未熟児等訪問指導

年度	訪問数	
	実数	延数
R5	18	25
R6	8	10

(15)新生児訪問指導

年度	訪問数	
	実数	延数
R5	39	45
R6	28	39

(16)こんにちは赤ちゃん事業

年度	家庭訪問対象 全家庭数	生後4か月までの家庭訪問		訪問以外で対応(健診等)		要支援家庭 件
		件	率	件	率	
R5	44	44	100.0	-	-	1
R6	21	21	100.0	-	-	2

※要支援家庭とは、保健師が訪問によって支援が必要と判断した者及びアンケート調査にて高得点を示した者。

(17)もぐもぐごっくん教室

年度	開催回数	人数(延数)		
		親	子	子
R5	4	26	26	26
R6	2	4	4	4

※令和6年度より離乳食相談会に変更

(18)4か月児健康診査

1) 受診状況

年度	実施回数	対象者数(a)	受診者数(b)	受診率 (b/a)×100(%)	把訪問による	未受診者数	未受診者理由(実数)					
							家事都合	病気・障害	健診に無関心	他機関で受診	その他	不明
R5	12	39	39	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	10	25	25	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

2) 受診結果(実数)

年度	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
R5	29	3	3	4	-	39
R6	12	2	6	3	2	25

3) 所見内訳

年度	有所見者		所見内訳(延数)															
	実数	延数	発育体的状況	精神発達	けいれん	運動機能	感覚器系	神経系	血液系	皮膚	股関節	(股関節開排制限)	斜頸	循環器系	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器系	代謝系
R5	10	13	2	-	-	3	1	-	1	3	1	-	-	-	1	1	-	-
R6	13	15	2	1	-	3	1	-	6	1	-	-	-	-	-	1	-	-

(19) 10か月児健康診査

1) 受診状況

年度	実施回数	対象者数(a)	受診者数(b)	受診率 (b/a) × 100(%)	把問による	未受診者数	未受診者理由(実数)						
							家事都合	病気・障害	健診に無関心	他機関で受診	その他	不明	
R5	12	29	29	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	5	33	29	87.9	-	4	-	3	-	-	1	-	

※令和6年度より10～11か月児健診に変更

2) 受診結果(実数)

年度	異常なし	要観察	要精健	要治療	治療中	計
R5	24	3	1	-	1	29
R6	19	3	3	-	4	29

(20) 乳児精密健康診査

4か月児・10～11か月児健康診査で精密検査が必要であると判断された児に対し、乳児精密健康診査受診票を発行。

1) 受診状況

年度	受診状況		受診結果(実数)			
	発行部数	受診者数	特になし	要指導	要観察	要治療
R5	6	5	4	-	1	-
R6	7	7	3	-	2	2

2) 有所見者の内訳(延数)

年度	先天性股関節脱臼				臼蓋形成不全				整形外科的疾患				その他			
	要指導	要観察	要治療	計	要指導	要観察	要治療	計	要指導	要観察	要治療	計	要指導	要観察	要治療	計
R5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
R6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-

(21) 1歳6か月児健康診査

1) 受診状況

年度	実施回数	対象者数(a)	受診者数(b)	受診率 (b/a) × 100(%)	把訪問による	未受診者数	未受診者理由(実数)					
							家事都合	病気・障害	健診に無関心	他機関で受診	その他	不明
R5	5	32	31	96.9	-	1	-	1	-	-	-	-
R6	6	31	31	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

2) 受診結果(実数)

年度	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
R5	27	2	1	1	-	31
R6	25	3	2	-	1	31

3) 所見内訳

年度	有所見者		所見内訳(延数)									
	実数	延数	発育体況的	精神発達	れ熱性けい	運動機能	視覚	聴覚	血液系	皮膚	循環器系	呼吸器系
R5	4	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	6	11	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-

消化器系	生殖泌尿系	身体的特性の	の生活問題上	の情緒行動問題上	異その他常
-	1	-	-	-	-
1	-	1	-	5	-

4) 精神面指導区分(再掲)

年度	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
R5	18	2	10	1	-	31
R6	17	1	13	-	-	31

5) 精密健康診査

① 精健票発行状況(実数)

年度	発行枚数	受診者数
R5	1	1
R6	-	-

② 受診結果(実数)

年度	異常なし	要経過観察	要治療	再掲		計
				精神面	身体面	
R5	-	1	-	-	-	1
R6	-	-	-	-	-	-

③ 精健受診結果所見内訳

年度	有所見者		所見内訳(延数)																			
	実数	延数	発育状況	身体	精神発達	けいれん性	熱性	運動機能	視覚	聴覚	血液系	皮膚	循環器系	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器系	身体的特徴	先天性	生活習慣上	精神行動上	その他	
R5	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

6) 歯科健診

年度	対象者数(a)	受診者数(b)	受診率 (b)/(a) ×100(%)	生歯数		罹患型						むし歯罹患率 (A+B+C)/ (b)×100(%)	
				総数(d)	当り人数(d)/(b)	O1	O2	A B C			計		
								A	B	C			
R5	32	31	96.9	416	13.4	21	10	-	-	-	-	-	0.0
R6	31	31	100.0	462	14.9	19	12	-	-	-	-	-	0.0

年度	むし歯の数			むし歯当り数	決り歯	歯の汚れ			あ軟組織異り常	あ咬合異り常	あその他異り常	指しやぶり
	歯未処置数	処置歯数	計			きれい	少ない	多い				
R5	-	-	-	0.00	21	7	23	1	-	3	-	11
R6	-	-	-	0.00	20	-	31	-	1	1	-	3

7) 健診担当者

年度	小内児科医師科	歯科医師	保市健町師村	保雇い健上師げ	心理相談員	管理栄養士	歯科衛生士	事務	計
R5	1	1	5	1	1	1	3	1	14
R6	1	1	6	-	1	1	3	-	13

(22) 3歳児健康診査

1) 受診状況

年度	実施回数	対象者数(a)	受診者数(b)	受診率 (b/a) × 100(%)	把訪問によ 握る	未受診者数	未受診者理由(実数)					
							家事都合	障病 害気	健診に無関心	他機関で受診	その他	不明
R5	6	35	35	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	6	32	32	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

2) 診察所見

①診察所見判定(実数)

年度	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
R5	25	5	1	4	-	35
R5	23	2	3	4	-	32

②眼科所見(実数)

年度	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	計
R5	27	4	1	3	35
R6	24	3	2	3	32

③耳鼻咽喉科所見(実数)

年度	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	計
R5	33	-	1	1	35
R6	31	-	-	1	32

④診察所見内訳

年度	有所見者		所見内訳(延数)									
	実数	延数	発身 育体 況的	精 神 発 達	再掲			け熱 い れ ん性	運 動 機 能	感神 覚経 器系	血 液 系	皮 膚
					の知的 障 み害	合(知 併的 含障 む害 の)	発 達 障 害					
R5	10	10	-	2	-	2	-	-	-	8	-	-
R6	9	22	1	2	-	2	-	1	1	9	-	1

循環器系	呼吸器系	消化器系	生殖器系	泌尿系	身体的特性	生活習慣	情緒行動	その他
-	-	1	-	-	-	3	3	-
-	-	1	-	-	-	3	3	-

3)精神面指導区分(再掲)

年度	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
R5	22	2	11	-	-	35
R6	21	1	10	-	-	32

4)精密健康診査

①精健票発行状況(実数)

年度	発行枚数	受診者数
R5	4	2
R6	4	3

②受診結果(実数)

年度	異常なし	要経過観察	要治療	再掲		計
				精神面	身体面	
R5	-	2	-	-	-	2
R6	1	2	-	-	-	3

③精健受診結果所見内訳

年度	有所見者		所見内訳(延数)							熱い	運動機能	神経系	血液系	皮膚
	実数	延数	発育状況	精神発達	再掲			不明						
					知的障害	発達障害(知的障害を含む)	不							
R5	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
R6	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	

循環器系	呼吸器系	消化器系	生殖泌尿系	先天性特徴	生活習慣問題	情緒行動問題	その他
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

④精健受診結果所見内訳(視覚)

年度	実数	異常なし	再掲	
			異視常力	異眼常位
R5	1	-	-	1
R6	2	-	-	2

⑤精健受診結果所見内訳(聴覚)

年度	実数	異常なし	再掲			
			難聴	中耳炎	言語発達	耳そ疾の患他
R5	1	-	-	-	-	1
R6	1	1	-	-	-	-

5) 歯科健診

年度	対象者数(a)	受診者数(b)	受診率 (b)/(a) ×100%	生歯数		罹患型					むし歯罹患率 (A+B+C1+C2)/ (b)×100%	
				総数(d)	当たり数人(d)/(b)	O	A	B	C1	C2		計
R5	35	35	100.0	701	20.0	28	5	1	-	1	7	20.0
R6	32	32	100.0	636	19.9	28	2	1	-	1	4	12.5

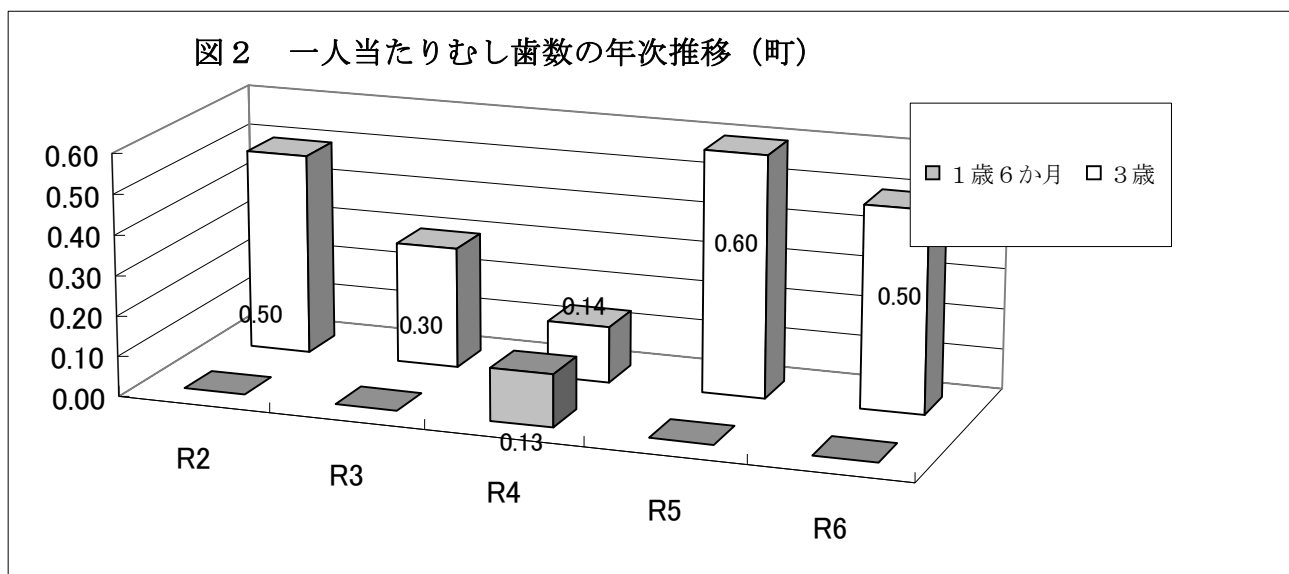
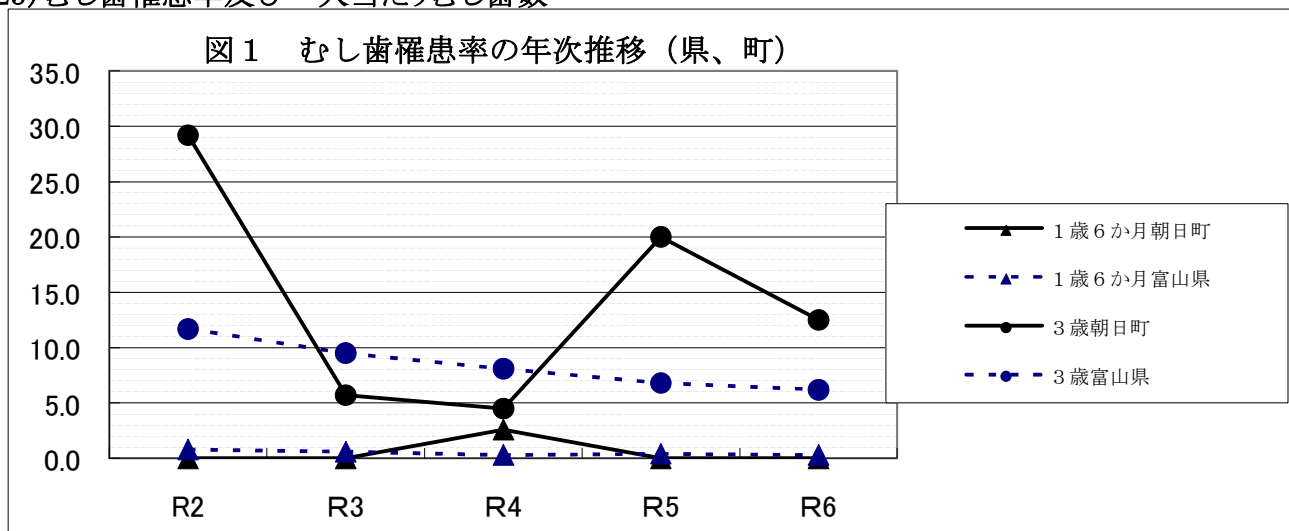
年度	むし歯の数			むし歯当り数	むし歯の判定(実数)			歯の汚れ(実数)			軟組織の異常			
	未処置歯数	処置歯数	計		異常なし	要注意	要治療	きれい	少ない	多い	異常あり	異常の内訳(延数)		
												小帯	歯肉	その他
R5	13	7	20	0.6	26	3	6	2	33	-	-	-	-	-
R6	14	3	17	0.5	28	1	3	3	29	-	1	1	-	-

年度	不正咬合								その他の異常				
	異常あり	不正咬合内訳(延数)							異常あり	異常の内訳(延数)			
		反対咬合	開咬	上顎前突	そう生	過蓋咬合	交叉咬合	その他		癒合歯	先天欠如	過剰歯	その他
R5	8	3	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-
R6	4	3	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-

6) 健診担当者

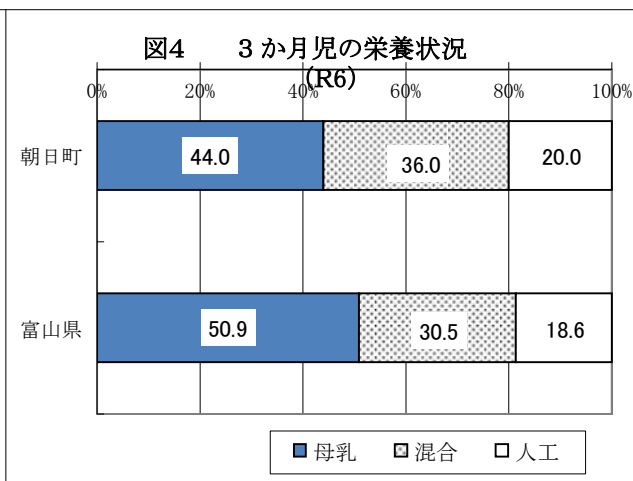
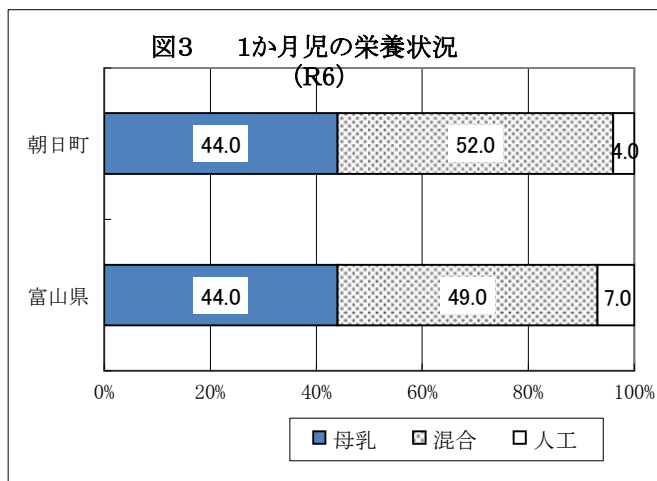
年度	小児科医師	歯科医師	保市健町師村	保雇い健上師げ	心理相談員	視能訓練士	管理栄養士	歯科衛生士	推母子進保員健	事務	計
R5	1	1	5	1	1	1	1	2	2	1	16
R6	1	1	6	0	1	1	1	2	2	0	15

(23)むし歯罹患率及び一人当たりむし歯数



(24)乳児栄養方法調査結果

年度	1か月児						3か月児					
	母乳		混合		人工		母乳		混合		人工	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
R4	19	57.6	14	42.4	-	0.0	21	63.6	9	27.3	3	9.1
R5	28	71.8	9	23.1	2	5.1	26	66.7	8	20.5	5	12.8
R6	11	44.0	13	52.0	1	4.0	11	44.0	9	36.0	5	20.0



(25) 個別相談

年度	育児相談(来所)	テレホン育児相談
R5		随時
R6		随時

(26) 障害児をもつ母親の集い

年度	回数
R5	12
R6	11

(27) 乳幼児健診事後フォロー教室「にじいろランド」

年度	実施回数	参加実数(組)	参加延数(組)
R5	6	7	21
R6	6	9	16

(28) ことばの相談会

年度	実施回数	参加実数(組)	参加延数(組)
R5	4	6	7
R6	4	5	9

(29) 乳歯・永久歯むし歯予防事業

1) フッ素塗布希望者数

年度	1歳6か月児健診対象者	1歳6か月児健診受診者	フッ素塗布希望者
R5	32	31	29 (94.0 %)
R6	31	31	31 (100 %)

2) フッ素塗布実施数

年度		内訳(延数)				
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
R5	対象者	31	35	36	35	33
	塗布実施数	29	34	34	31	33
R6	対象者	31	19	26	35	31
	塗布実施数	31	18	27	32	31

3) フッ化物洗口実施状況

① 保育所(4・5歳児)

年度	対象者数	希望者数	洗口希望者率
R5	112	108	96.4 %
R6	86	79	91.9 %

② 小学校

年度	対象者数	希望者数	洗口希望者率
R5	363	343	94.5 %
R6	357	343	96.1 %

第 3 章 成人保健

1.成人保健事業内容

事業名	健康教育			<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査(40～74歳) ・後期高齢者の健康診査(75歳以上) ・健康診査(生保、39歳以下) 	
	糖尿病予防教室	高血圧改善教室	健康体操		
対象	特定健診結果において、血糖値の要指導者	特定健診結果において、血圧の要指導者	一般住民	65歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・64歳以下 ・65歳以上74歳以下の希望者
開催回数	1回	2回	週1回	6月～10月	6月～9月(9回)
開催場所	役場4階大ホール	保健センター	保健センター	町内医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター ・サンリーナ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講義(医師) ・健診結果の見方と食事量について(保健師・管理栄養士) 	<ul style="list-style-type: none"> ・尿検査 ・血圧測定、塩分測定(希望者) ・講義(医師) ・血圧手帳の使い方について(保健師) ・食生活の工夫について(管理栄養士) ・高血圧の予防、改善のための運動療法(理学療法士) 	<ul style="list-style-type: none"> ・組み操法 ・要の操法 ・五導術 	<ul style="list-style-type: none"> *必須検査 ・問診 ・身体計測 ・尿検査 ・血圧測定 ・診察 ・血液検査(脂質・肝機能・血糖) ・クレアチニン検査 *詳細な検査 ・心電図 ・眼底検査 ・貧血検査 	<ul style="list-style-type: none"> *必須検査 ・問診 ・身体計測 ・尿検査 ・血圧測定 ・診察 ・血液検査(脂質・肝機能・血糖) ・クレアチニン検査 *詳細な検査 ・心電図 ・眼底検査 ・貧血検査 *肝炎ウイルス検診
備考				<ul style="list-style-type: none"> ・町内医療機関に委託 ・平成26年度より無料 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本健康倶楽部に委託 ・平成26年度より無料

特定保健指導	訪問指導	健康相談	骨粗鬆症検診	歯周疾患検診
	健診事後訪問			
特定健康診査の結果 メタボリックシンドロームの 該当者及びその予備群	40歳～74歳の 特定健康診査受診者	希望者	40,45,50,55,60,65,70歳 の女性	20,30,40,50,60,70歳
・7月より開始し、3か月 後以降に最終評価	随時	週1回	6月～10月	6月～10月
保健センター	各家庭	保健センター	・あさひ総合病院 ・坂東病院	町内歯科医院
☆積極的支援 ☆動機付け支援 ①個別面接 ②中間測定 ③最終評価	・結果説明及び指導 糖尿病 高血圧 脂質異常 CKD疑い 心電図有所見	・一般相談 ・栄養相談 ・心の健康相談	・問診 ・骨量測定 ・結果説明及び指導	・問診 ・歯周組織検査 ・結果説明
・H28年度より全数訪 問による特定保健 指導を実施。	・H23年度より糖尿病予 防訪問指導事業を 実施。 ・平成26年度より生活習 慣病予防訪問指導事 業を実施。		・検診料金500円を徴収 (70歳は無料)	・検診料金500円を徴収 (70歳は無料)

事業名	がん検診		
	胃がん検診	子宮がん検診	乳がん検診
対象	40歳以上	20歳以上の女性	30歳以上の女性
開催回数	①集団検診:4回 ②医療機関:年間通じて	①集団検診:5回 ②医療機関:年間通じて	①集団検診:5回 ②医療機関:年間通じて
開催場所	①保健センター ②あさひ総合病院 坂東病院 島谷クリニック	①保健センター ②県内の産婦人科 (富山大学附属病院・ 富山県立中央病院は 除く)	①保健センター ②あさひ総合病院
内容	①集団検診(X線) ・問診 ・検診車での 胃部X線撮影 ②医療機関検診(内視鏡) ・問診 ・胃内視鏡検査	①集団検診 ・問診 ・検診車での 視診、内診 ・子宮頸部の細胞診 ②医療機関検診 ・問診 ・視診、内診 ・子宮頸体部の細胞診	①集団検診 ・問診 ・検診車での マンモグラフィ撮影 (30・40歳代:2方向撮影) (50歳以降:1方向撮影) ②医療機関検診 ・問診 ・視触診 ・マンモグラフィ撮影 (2方向撮影)
備考	・平成24年度より、医療機関検診に胃内視鏡検査を追加 ・令和3年度より、あさひ総合病院での胃X線検査を中止		・集団検診での視触診は平成28年度で終了

がん検診			
結核・肺がん検診	肺がんヘリカルCT	大腸がん検診	前立腺がん検診
40歳以上	40歳以上	40歳以上	50歳以上の男性
①特定健診と同時実施 ②医療機関:6月～10月	集団検診	5月～11月	①特定健診と同時実施 (9回) ②医療機関:年間通じて
①保健センター サンリーナ ②あさひ総合病院 坂東病院 島谷クリニック	保健センター	保健センター サンリーナ	①保健センター サンリーナ ②あさひ総合病院
①集団検診 ・胸部X線撮影 ・喀痰検査 (希望者) ②医療機関検診 (65歳以上) ・胸部X線撮影 ・問診(あさひ総合病院のみ)	・問診 ・検診車でのCT検査	・問診 ・便潜血検査	①集団検診 ・問診 ・血液検査(PSA) ②医療機関検診 ・問診 ・血液検査(PSA)
・令和2年度より、医療機関検診にあさひ総合病院を追加	・平成28年度より実施 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		・平成10年度より、集団検診を開始 ・平成21年度より、医療機関検診を開始 ・平成23年度より、集団検診を特定健診と同時に実施

2.健康教育開催状況

令和6年度

区 分	開 催 回 数	参加延人員
糖尿病予防教室	1	12
高血圧改善教室	2	22
健康体操教室	42	323
知って得する健康教室	2	4
その他の健康教育	3	39
計	50	400

3.健康相談実施状況

令和6年度

区 分	開催回数	被指導延人員
総合健康相談	42	43

4.訪問指導実施状況

令和6年度

要指導者等	実人員	96
	延人員	98

5.健康診査実施状況

(1)生活保護者、39歳以下受診状況

令和6年度

受診者数	生活保護者	5
	39歳以下	6

(2) 肝炎ウイルス検診実施状況

令和6年度

	対象者	受診者		B型		C型				
		B型	C型	陽性	陰性	判定①	判定②	判定③	判定④	判定⑤
40歳	75	6	6	0	6	0	0	0	0	6
40歳以外		36	36	0	36	0	0	0	0	36

(3) 骨粗鬆症検診実施状況

令和6年度

	対象者	受診者数	要精検者	要指導者	異常認めず
40歳	30	2	0	0	2
45歳	38	3	0	0	3
50歳	50	6	0	1	5
55歳	71	12	1	4	7
60歳	70	9	3	2	4
65歳	64	9	3	1	5
70歳	94	21	5	6	10
計	417	62	12	14	36

(4) 歯周疾患検診実施状況

令和6年度

	対象者	受診者数	要精検者	要指導者	異常認めず
20歳	93	2	1	0	1
30歳	70	1	1	0	0
40歳	74	1	0	0	1
50歳	114	3	2	0	1
60歳	156	5	5	0	0
70歳	173	15	9	1	5
計	680	27	18	1	8

6.がん検診実施状況

(1) 胃がん検診実施状況

1) 集団(X線)

令和6年度

	受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者							未受診	未把握	
			異常認めず	異常を認める					胃がんの疑いのある者 又は未確定			胃がん以外の疾患であった者 (転移性の胃がん含む)
				胃がんであった者 (転移性を含まない)	胃がんのうち早期がん		胃がんのうち粘膜内がん					
					胃がんのうち早期がん	早期がんのうち粘膜内がん						
男	40～44歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	45～49歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50～54歳	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	
	55～59歳	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	60～64歳	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	65～69歳	10	2	-	-	-	-	-	2	-	-	
	70～74歳	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	75～79歳	4	2	-	-	-	-	-	2	-	-	
	80歳以上	5	1	-	-	-	-	-	1	-	-	
	計	36	6	-	-	-	-	-	6	-	-	
女	40～44歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	45～49歳	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50～54歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	55～59歳	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	60～64歳	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	65～69歳	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	70～74歳	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	75～79歳	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	80歳以上	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(1) 胃がん検診実施状況

2) 個別(内視鏡)

令和6年度

	受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者						検診時生検未受診のうち再検査未受診	検診時生検未受診のうち再検査未把握	
			異常認めず	異常を認める				胃がんの疑いのある者又は未確定			胃がん以外の疾患であった者(転移性の胃がん含む)
				胃がんであった者(転移性を含まない)	胃がんのうち早期がん		胃がんのうち粘膜内がん				
					胃がんのうち早期がん	早期がんのうち粘膜内がん					
男	50～54歳	8	-	-	-	-	-	-	-	-	
	55～59歳	5	-	-	-	-	-	-	-	-	
	60～64歳	7	-	-	-	-	-	-	-	-	
	65～69歳	21	1	-	-	-	-	-	1	-	
	70～74歳	39	1	-	-	-	-	-	1	-	
	75～79歳	62	5	-	2	1	-	-	3	-	
	80歳以上	37	4	-	-	-	-	-	4	-	
	計	179	11	-	2	1	-	-	9	-	
女	50～54歳	19	-	-	-	-	-	-	-	-	
	55～59歳	23	-	-	-	-	-	-	-	-	
	60～64歳	29	-	-	-	-	-	-	-	-	
	65～69歳	52	2	-	-	-	-	-	2	-	
	70～74歳	82	4	-	-	-	-	-	4	-	
	75～79歳	89	4	-	-	-	-	-	4	-	
	80歳以上	66	5	-	-	-	-	-	5	-	
	計	360	15	-	-	-	-	-	15	-	

(2) 大腸がん検診実施状況

令和6年度

	受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者								未受診	未把握
			異常認めず	異常を認める					腺腫のあった者	大腸がん以外の疾患であった者(転移性の大腸がん含む)		
				大腸がんであった者(転移性を含まない)	大腸がんのうち早期がん	早期がんのうち粘膜内がん	大腸がんの疑いのある者又は未確定					
男	40～44歳	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	7	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	60～64歳	15	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	65～69歳	41	3	-	-	-	-	-	2	1	-	-
	70～74歳	48	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	75～79歳	66	4	3	-	-	-	-	1	-	-	-
	80歳以上	48	10	2	1	1	1	-	5	1	1	-
	計	238	21	5	1	1	1	-	10	3	1	1
女	40～44歳	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	11	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	29	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	45	3	-	-	-	-	-	1	1	-	1
	65～69歳	77	4	3	-	-	-	-	-	1	-	-
	70～74歳	96	8	3	-	-	-	-	3	1	-	1
	75～79歳	92	7	2	-	-	-	-	2	1	-	2
	80歳以上	61	6	4	-	-	-	-	1	-	1	-
	計	443	31	15	-	-	-	-	7	4	1	4

(3) 肺がん検診実施状況

1) 集団(X線)

令和6年度

	受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者						未受診	未把握
			異常認めず	異常を認める						
				肺がんであった者 (転移性を含まない)	肺がんのうち 臨床病期0～I期	肺がんの疑いのある者 又は未確定	肺がん以外の疾患であった者 (転移性の肺がん含む)			
男	40～44歳	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	8	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	14	-	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	13	1	1	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	19	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	42	2	1	-	-	-	1	-	-
	70～74歳	65	4	2	-	-	-	2	-	-
	75～79歳	77	4	-	-	-	-	4	-	-
	80歳以上	73	8	1	-	-	-	4	-	3
	計	320	19	5	-	-	-	11	-	3
女	40～44歳	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	14	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	26	1	-	-	-	-	1	-	-
	55～59歳	33	1	-	-	-	-	1	-	-
	60～64歳	54	1	-	-	-	-	1	-	-
	65～69歳	73	3	1	-	-	-	1	-	1
	70～74歳	88	3	1	-	-	-	1	-	1
	75～79歳	94	3	1	-	-	-	-	-	2
	80歳以上	71	6	1	-	-	-	4	1	-
	計	462	18	4	-	-	-	9	1	4

(3) 肺がん検診実施状況

2) 集団(喀痰)

令和6年度

	受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者							未受診	未把握
			異常認めず	異常を認める					肺がん以外の疾患であった者(転移性の肺がん含む)		
				肺がんであった者(転移性を含まない)	肺がんのうち喀痰細胞診のみで発見された者	肺がんのうち臨床病期0～I期	肺がんの疑いのある者又は未確定				
男	40～44歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70～74歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75～79歳	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	40～44歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70～74歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75～79歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 肺がん検診実施状況

3) 個別(X線)

令和6年度

	受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者					未受診	未把握
			異常認めず	異常を認める					
				肺がんであった者 (転移性を含まない)	肺がんのうち 臨床病期0～I期	肺がんの疑いのある者 又は未確定	肺がん以外の疾患であった者 (転移性の肺がん含む)		
男	40～44歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	17	2	-	-	-	2	-	-
	70～74歳	34	1	-	-	-	1	-	-
	75～79歳	77	4	1	-	-	3	-	-
	80歳以上	113	3	-	-	-	3	-	-
	計	241	10	1	-	-	9	-	-
女	40～44歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	1	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	57	-	-	-	-	-	-	-
	70～74歳	115	1	-	-	-	1	-	-
	75～79歳	142	3	-	-	-	2	-	1
	80歳以上	188	7	1	-	-	6	-	-
	計	503	11	1	-	-	9	-	1

(4) 子宮がん検診実施状況

令和6年度

	受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者										未受診	未把握	
			異常認めず	異常を認める											
				子宮頸がんであった者(転移性を含まない)	子宮頸がんのうち進行度がIA期のがん	AISであった者	CIN3であった者	CIN2であった者	CIN3又はCIN2のいずれかでは区別できないもの	CIN1であった者	子宮頸がんの疑いのある者又は未確定	子宮頸がん、AIS及びCIN以外の疾患であった者(転移性の子宮頸がんを含む)			
集団	20～24歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30～34歳	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35～39歳	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40～44歳	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70～74歳	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75～79歳	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	215	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
個別	20～24歳	12	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30～34歳	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35～39歳	26	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	40～44歳	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	62	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	67	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	60～64歳	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70～74歳	71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75～79歳	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	555	7	3	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	1

(5) 乳がん検診実施状況

令和6年度

	受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者						未受診	未把握
			異常認めず	異常を認める						
				乳がんであった者 (転移性を含まない)	乳がんのうち 早期がん	早期がんのうち 非浸潤がん	乳がんの疑いのある者 又は未確定	乳がん以外の疾患であった者 (転移性の乳がん含む)		
集団	40～44歳	10	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	10	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	18	-	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	26	2	2	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	23	1	-	-	-	-	1	-	-
	65～69歳	47	4	2	1	-	-	-	-	1
	70～74歳	40	3	-	-	-	-	3	-	-
	75～79歳	46	-	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	19	1	1	-	-	-	-	-	-
	計	239	11	5	1	-	-	-	4	-
個別	40～44歳	21	2	-	-	-	-	2	-	-
	45～49歳	36	2	-	1	-	-	1	-	-
	50～54歳	37	4	-	-	-	-	4	-	-
	55～59歳	45	1	-	-	-	-	1	-	-
	60～64歳	48	1	-	1	-	-	-	-	-
	65～69歳	58	3	1	-	-	-	2	-	-
	70～74歳	80	3	3	-	-	-	-	-	-
	75～79歳	62	-	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	29	1	-	-	-	-	1	-	-
	計	416	17	4	2	-	-	-	11	-

(6) 前立腺がん検診実施状況

令和6年度

	受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者					未受診	未把握
			異常認めず	がんであった者	前立腺肥大症	がんの疑いのある者または未確定	がん以外の疾患であった者		
集団	50～54歳	7	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	7	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	12	1	-	-	1	-	-	-
	65～69歳	36	1	1	-	-	-	-	-
	70～74歳	38	2	1	-	1	-	-	-
	75～79歳	52	5	1	1	1	-	-	2
	80歳以上	26	1	-	-	1	-	-	-
	計	178	10	3	1	4	-	-	2
個別	50～54歳	1	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	2	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	7	1	-	-	1	-	-	-
	70～74歳	8	-	-	-	-	-	-	-
	75～79歳	7	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	7	1	-	1	-	-	-	-
	計	32	2	-	1	1	-	-	-

7.健康診査受診状況(年次比較)

	年度	対象者数	受診者数	受診者の内訳		受診率 ※1	備考	朝日町の 対象年齢	
				集団	医療機関				
健康診査	R4	—	12	8	4	—	/	生保・ 39歳以下	
	R5	—	7	4	3	—			
	R6	—	11	9	2	—			
骨粗鬆症検診	R4	504	75	/	75	14.9	骨粗鬆症 10	節目年齢者	
	R5	492	79		79	16.1	骨粗鬆症 6		
	R6	417	62		62	14.9	骨粗鬆症 4		
歯周疾患検診	R4	596	64	/	64	10.7	要精検 52	節目年齢者	
	R5	518	26		26	5.0	要精検 22		
	R6	680	27		27	4.0	要精検 18		
がん 検 診 ※2	肺	R4	4,302	1,592	732	860	37.0	がん0	40歳以上
		R5	4,372	1,563	801	762	35.8	がん0	
		R6	4,177	1,526	782	744	36.5	がん0	
	胃	R4	3,436	708	135	573	20.6	がん0	40歳以上
		R5	3,443	645	117	528	18.7	がん1	
		R6	3,374	659	106	553	19.5	がん2	
	子宮	R4	2,562	766	240	526	29.9	がん0	20歳以上の女 性
		R5	2,501	714	202	512	28.5	がん0	
		R6	2,433	770	215	555	31.6	がん0	
	乳房	R4	2,400	744	298	446	31.0	がん3	30歳以上の 女性
		R5	2,345	694	254	440	29.6	がん3	
		R6	2,303	681	256	425	29.6	がん3	
	大腸	R4	3,392	698	698	/	20.6	がん1	40歳以上
		R5	3,414	688	688		20.2	がん5	
		R6	3,347	681	681		20.3	がん1	
前立腺	R4	3,011	181	151	30	6.0	がん2	50歳以上の男 性	
	R5	3,024	196	170	26	6.5	がん1		
	R6	3,070	210	178	32	6.8	がん2		

※1) 受診率 = (受診者数 / 対象数) × 100

※2) がん検診について

- ・対象者: 朝日町で定める対象年齢のうち、職場等ではがん検診を受診する機会がない者
ただし、前立腺がん検診については、50歳以上の男性の全人口
- ・受診者: 朝日町で定める対象年齢内での受診者

第 4 章 結核・予防接種

1.結核検診実施状況

令和6年度

対象者数	受診者数	受診率	要精検	精検受診	精検受診率	発見結核患者数
3,509	1,362	38.8	58	49	84.5	-

受診者数: 集団検診618人、医療機関検診744人

2. 予防接種実施状況

(1) 定期接種 予防接種法による接種

令和6年度

種類及び接種区分		対象者数 ^(※1)	被接種者数	接種率(%)		
A 類 疾 病	ロタウイルス感染症 ^(※2) (経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン)	1回目	20	-	0.0%	
		2回目	20	-	0.0%	
	ロタウイルス感染症 ^(※2) (5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン)	1回目	20	21	105.0%	
		2回目	20	24	120.0%	
		3回目	20	24	120.0%	
	B型肝炎	1回目	20	21	105.0%	
		2回目	20	24	120.0%	
		3回目	20	28	140.0%	
	ヒブ ^(※3)	初回	1回目	20	-	0.0%
			2回目	20	4	20.0%
			3回目	20	8	40.0%
		追加	36	35	97.2%	
	小児用肺炎球菌	初回	1回目	20	21	105.0%
			2回目	20	24	120.0%
			3回目	20	24	120.0%
		追加	36	35	97.2%	
	4種混合 ^(※3) (DPT-IPV)	1期初回	1回目	20	-	0.0%
			2回目	20	4	20.0%
			3回目	20	8	40.0%
		1期追加	36	38	105.6%	
5種混合 ^(※3) (DPT-IPV-Hib)	1期初回	1回目	20	21	105.0%	
		2回目	20	20	100.0%	
		3回目	20	16	80.0%	
	1期追加	36	-	0.0%		
2種混合(DT)	2期	61	44	72.1%		
結核(BCG)		20	26	130.0%		
麻しん風しん混合 (MR)	1期	36	34	94.4%		
	2期	53	51	96.2%		
風しん	5期	30	8	26.7%		
水痘	初回	36	34	94.4%		
	追加	36	29	80.6%		
日本脳炎 ^(※4)	1期初回	1回目	36	39	108.3%	
		2回目	36	38	105.6%	
	1期追加	42	36	85.7%		
	2期	95	51	53.7%		
子宮頸がん ^(※5)	定期	1回目	32	26	81.3%	
		2回目	32	22	68.8%	
		3回目	32	10	31.3%	
	キャッチアップ	1回目	253	67	26.5%	
		2回目	253	88	34.8%	
		3回目	253	78	30.8%	
B類 疾病	高齢者インフルエンザ		4,892	2,617	53.5%	
	高齢者新型コロナウイルス感染症		4,892	977	20.0%	
	高齢者肺炎球菌感染症 ^(※6)		142	21	14.8%	

*令和6年度における予防接種実施状況調査

※1 対象者の算定方法:年度内に標準的な接種年齢に達する者の人口

※2 ロタウイルス感染症については、令和2年10月1日より定期接種に位置づけられた。2種類のワクチンがある。

※3 令和6年4月1日より5種混合ワクチン(Hib+4種混合)が定期接種化された。

※4 日本脳炎については、平成17年5月30日から積極的勧奨を差し控えていたが、平成22年4月から順次積極的勧奨を再開し、特例に係る18歳となる者への積極的勧奨は令和6年度末で終了した。
日本脳炎2期について、令和3年度、ワクチンの供給量不足により案内ができなかった10歳になる者へも個別通知を行った。

※5 子宮頸がんについては、平成25年の6月より積極的勧奨を差し控えていたが、令和4年度から積極的勧奨を再開した。また、定期接種の機会を逃した者に対するキャッチアップ接種期間は令和4年4月1日から令和7年3月31日までとされていたが、ワクチンの供給不足により、キャッチアップ期間中に1回以上接種している者については令和8年3月31日まで経過措置が延長された。平成20年度生についても同様の経過措置が決定された。

※6 高齢者肺炎球菌感染症の特例接種は令和5年度末で終了した。 41

○風しんの追加的対策

風しんの予防接種は、現在、予防接種法に基づき公的に行われている。しかし、公的な接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、抗体保有率が他の世代に比べて低く(約80%)になっている。

そのため、令和元年度から令和3年度までの3年間に限り、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を風しんの定期接種の対象者とし、公費による抗体検査・予防接種を実施。新型コロナウイルス感染症に伴う影響により実施当初の見込みどおりに対策が進まないことから当初目標まで後退保有率を引き上げるため、令和6年度末まで実施期間を延長。

※令和4年度は抗体検査未受診者、抗体検査の結果陰性で予防接種未接種者にクーポン券発送

対象者	717人
抗体検査受診者	30人
陰性者	8人

(2)任意接種

○成人の風しん予防接種費助成事業

妊婦が風しんに感染することによって発生する、赤ちゃんの「先天性風しん症候群」を予防する目的として、妊娠を希望する女性とその配偶者を対象に、風しん予防接種費用の一部を助成している。(平成25年8月～)

	申請者数		接種者数	
	男	女	男	女
令和6年度	-	-	-	1

(※内、前年度申請者1)

○小児インフルエンザ予防接種費用助成事業

インフルエンザは、毎年冬から春にかけて流行しやすく、保育所や学校での感染拡大が懸念されるため、接種しやすい体制をつくり、罹患や重症化を防ぐ目的として予防接種費用の一部助成をしている。(平成26年度～)

	対象者数	被接種者数		接種率
令和6年度	760	初回	358	47.1%
		追加	179	46.5%

【対象者】

* 令和6年度: 小学1年生から高校3年生相当まで
(生後6か月から未就学相当児まで、県の助成事業あり)

第 5 章 保健師等活動狀況

1.保健師活動状況(保健衛生部門)

(6月、10月、2月分)

令和6年度

内 容		実働保健師(6名)		
		業務時間		
		総計	率	
総 数		2,696	100.0	
地区管理	小 計	97	3.6	
	調 査 研 究	-	-	
	地 区 管 理	97	3.6	
保健福祉事業	小 計	1,638	60.8	
	家 庭 訪 問	288	10.7	
	健康相談	相談日設定	158	5.9
		それ以外	53	2.0
	健 康 診 査	394	14.6	
	健 康 教 育	167	6.2	
	機 能 訓 練	-	-	
	地 区 組 織 活 動	43	1.6	
	予 防 接 種	290	10.8	
そ の 他	245	9.1		
コーデイネイト	小 計	255	9.5	
	個別	会 議	21	0.8
		会 議 以 外	76	2.8
	地域	会 議	79	2.9
		会 議 以 外	79	2.9
教育研修	小 計	0	0.0	
	研 修 企 画	0	0.0	
	実 習 指 導	0	0.0	
	人 材 育 成	0	0.0	
業 務 管 理		24	0.9	
業 務 連 絡 事 務		229	8.5	
研 修 参 加		117	4.3	
そ の 他		336	12.5	

市町村保健師活動報告より

2.家庭訪問内容(保健衛生部門)

令和6年度

内 容	件 数		
	実人員	延人員	
合 計	157	206	
感 染 症	-	-	
結 核	-	-	
精 神 保 健	5	16	
難 病	-	-	
妊 婦	6	15	
産 婦	2	6	
新生児(未熟児を除く)	2	3	
未 熟 児	0	0	
乳児(新生児・未熟児を除く)	7	9	
幼 児	0	0	
長 期 療 養 児	0	0	
健康増進	要 指 導 者 等	134	156
	閉じこもり予防	0	0
	介 護 家 族 者	0	0
	寝 た き り 者	1	1
	認 知 症 の 者	0	0
そ の 他	0	0	
介 護 保 険	0	0	
そ の 他	0	0	

市町村保健師訪問指導年報より

3.保健センター利用状況

令和6年度

事 業		回 数	人 員 (延)
母 子 保 健	乳 幼 児 健 診 離 乳 食 相 談 健 診 事 後 フォロ ー 事 業 他	83	708
成 人 健 診 関 係	特 定 健 診 ・ 特 定 保 健 指 導 が ん 検 診 他	17	900
健 康 教 育	健 康 体 操 教 室 知 っ て 得 す る 健 康 教 室 食 生 活 改 善	46	349
健 康 相 談	母 子 保 健 一 般 相 談 心 の 健 康 相 談 他	随 時	23
そ の 他		随 時	1,726
計			3,706
開館日数 253日		1日平均利用人員 13.6人	

*健康教育は他の施設で実施分は含まない

第 6 章 特定健康診査・特定保健指導

1. 特定健康診査・特定保健指導実施状況

(1) 特定健康診査・特定保健指導実施結果総括表

項目		男		女		令和6年度 計		
		人	%	人	%	人	%	
特定健診	対象者	762	/	848	/	1,610	/	
	受診者	288	37.8	457	53.9	745	46.3	
内臓脂肪症候群	該当者	118	41.0	74	16.2	192	25.8	
	予備群者	55	19.1	29	6.3	84	11.3	
服薬	高血圧症治療に係る薬剤服用者	140	48.6	167	36.5	307	41.2	
	脂質異常症治療に係る薬剤服用者	77	26.7	153	33.5	230	30.9	
	糖尿病治療に係る薬剤服用者	55	19.1	22	4.8	77	10.3	
特定保健指導	積極的支援	対象者	8	2.8	3	0.7	11	1.5
		服薬による除外者	16	/	10	/	26	/
		利用者	6	75.0	3	100.0	9	81.8
		終了者	3	37.5	0	0.0	3	30.0
	動機付け支援	対象者	39	13.5	30	6.6	69	9.3
		服薬による除外者	115	/	85	/	200	/
		利用者	23	59.0	19	63.3	42	60.9
		終了者	23	59.0	15	51.7	38	55.9
	計	対象者	47	/	31	/	78	/
		終了者	26	55.3	15	48.4	41	52.6

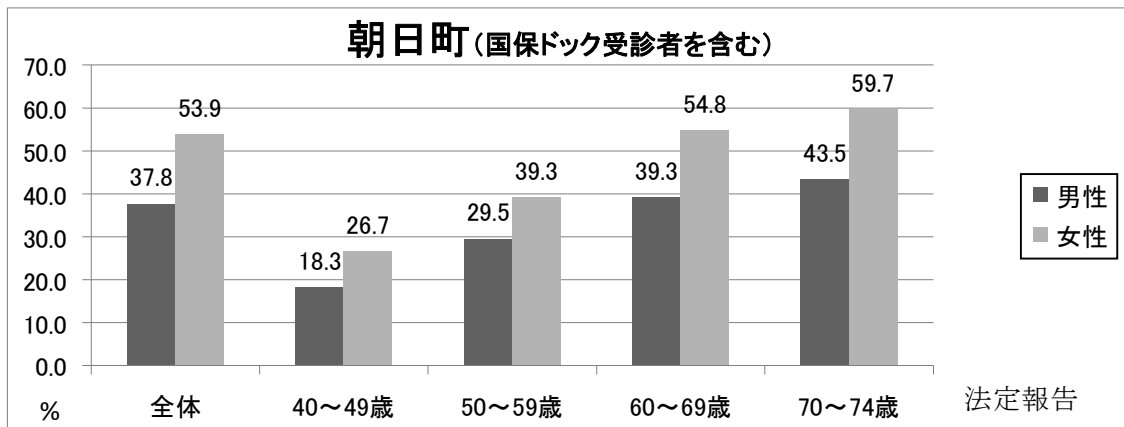
法定報告

(2) 特定健康診査受診状況(性・年齢別)

年齢階級	男			女			令和6年度 計		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
40～49歳	71	13	18.3	45	12	26.7	116	25	21.6
50～59歳	105	31	29.5	89	35	39.3	194	66	34.0
60～69歳	262	103	39.3	332	182	54.8	594	285	48.0
70～74歳	324	141	43.5	382	228	59.7	706	369	52.3
計	762	288	37.8	848	457	53.9	1,610	745	46.3

法定報告

(3) 特定健康診査受診率(性・年齢別)



(4) 特定保健指導実施結果

令和6年度

		40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	計
対象者数		4	3	2	7	7	23	32	78
内訳	積極的支援	2	2	1	3	3	-	-	11
	動機付け支援	2	1	1	5	5	23	32	69
終了者数		3	-	-	3	2	14	19	41
内訳	積極的支援	2	-	-	1	-	-	-	3
	動機付け支援	1	-	-	2	2	14	19	38
終了者の割合		75.0	0.0	0.0	42.9	28.6	60.9	59.4	52.6

法定報告

(5) 後期高齢者医療制度による健康診査(75歳以上)受診状況

令和6年度

対象者数	3,092
受診者数	922
受診率(%)	34.5

(6) 糖尿病性腎症重症化予防事業

令和6年度

受診勧奨対象者数(人)	7
受診勧奨による医療機関受診数	3
受診勧奨後の保健指導参加者数	0

保健指導対象者数(人)	4
保健指導参加者数	1
(再掲)保健指導終了者数	1
(再掲)保健指導予定者数	0
(再掲)保健指導中断者数	0